

～くらし応援プロジェクト～ 左京連帯ひろば in 修学院

新型コロナ・物価高の影響を受け困窮する方々へ少しでも支援を出来ればとの思いで開催します。地域の皆さんの食料品や日用品提供などのご協力も得て、インスタント食品やレトルト食品、缶詰、お米など日持ちし、感染の心配の要らない食料の無料提供を行います。また、様々なお困りごとの相談会も並行して行います。

どなたでも 遠慮なく お越し下さい。

食料 無 料 提供



&なんでも相談会

無 料 だ よ



会場に駐車場・駐輪場はありません。
公共交通でお越しください。

12月13日(土) 10時～11時30分 ※整理券配布9時45分から

場所 山端自治会館

左京区山端川端町10-11

■電 修学院駅から
徒歩3～5分



京都府物価高騰対策・生活困窮者支援事業補助金を活用して取り組みます

主催：左京連帯ひろば in 修学院・左京連帯ひろば実行委員会

共催：左京社会保障推進協議会 連絡先：左京健康友の会内 712-9088

左京連帯ひろばニュース

2025年11月25日発行

連絡先：左京連帯ひろば実行委員会

TEL075-712-9088 左京健康友の会



京都府の補助金を活かし、沢山の食料品を提供できて、とても喜ばれました。

物価高くて生活苦しい
学生も、働く世代も、高齢者も



● 青年・学生の声 ●

「生活費をアルバイトで賄わねばならない。学業が忙しく、あまりアルバイトできず、お金がない。就活で交通費も高い」
「お金がなくて食事回数をへらし、食費を削っている」
「食事は1日1食、学食の200円ランチだけでガマンしている」
「親から物資を送ってもらい1か月の食費を5000円におさえている」
「学費が高い」
「お米が高い」
「物価高にみあう時給にあげて欲しい」
「エアコンを付けずにがまんしている」
「友達との会食を控えている」
「栄養不足で体調をこわしたことがある」
「病院に行けない」

学生・留学生にとって、一番切実な「要望」は、親も学生も苦しめる高学費の値下げ、消費税の引下げでした。

左京連帯ひろば in 静市

11月16日市原野会館 14時～15時30分



11月16日(日) 静原・市原地域の皆さんと精華大学生有志が取り組む「静市地域食料支援プロジェクト」と左京連帯ひろば実行委員会が共催し「食料支援&なんでも相談会」を開催しました。地域のみなさんから募金や準備・当日のボランティア協力をいただき、認定NPO法人セカンドハーベスト京都さんを通じて、いただいた飲料や食料品、京都府物価高騰対策・生活困窮者支援事業補助金を活用して購入した食料品や生理用品を提供しました。

- ★当日の参加者 123人(子ども 13人)
- ★当日のボランティア協力 22人
- ★なんでも相談アンケートへの協力 103人

● なんでも相談アンケートの声 ●

「生活費のために収入を増やしたいが、収入が増えると市営住宅の家賃が上がり、税金も上り、負担が増える。物価高なんとかしてほしい」(30代)
「夫が病気で退職。親に頼っている」(50代)
「食料品が高く食費が苦しい」(50代)
「入院予定。医療費が心配。」(50代)
「年金少なく、食料支援助かる。健診受けてない。少々のことでは病院にかかれない」(70代)
「年金少なくアルバイトしている」(70代)

医療費でお困りの方には無料低額診療制度が使える医療機関を紹介しました。

